

震災・医学・医療に関連する商業紙報道の見出し・概要（平成23年6月1日～6月31日）

東日本大震災		新聞	掲載面	掲載日
医療	茨城県の病院は約9割が被害を受けた。地震発生後、医療機関を6グループに分け、情報の共有や伝達を迅速に行った。福島からの避難者も受け入れ、一定の基準以上被爆している場合は指定医療機関で除染などの処置を行える態勢も整えた。今後の課題は情報把握のためにかかる時間の短縮と情報網が寸断された場合に近隣県の状況も把握できるような仕組みの構築である。	読売	16面	6.30
医療	被災者の医療費免除を受けるとき、7/1からは健康保険証と加入する健康保険組合などが交付する「免除証明書」が必要となる。自治体では、交付の事務量が多く対応できず交付延期するところが18にも上り、厚労省の交付基準が分かりにくいと困惑する自治体も出てきている。	産経	27面	6.30
医療	血栓予防に医療用弾性ストッキングが活躍している。周術期の肺塞栓病の死亡率は17年の30%に対し、20年は15.8%に半減している。日本麻酔科学会調査。	産経	15面	6.29
医療	茨城県北部の療養型病床は約270床あったが、震災により広橋第一病院が患者を受け入れられなくなり、約1/3の病床数が減少。急性期病院が患者を移せず、救急医療に大きな影響がでていると地元の医師が危惧している。	読売	12面	6.27
医療	読売新聞社の調べで、震災により、宮城・岩手県沿岸部の少なくとも14病院でカルテが流されたり、浸水し、患者の履歴が分からなくなっていたことが判明した。一方、電子カルテを遠隔地に保管していたため、復旧できたケースもあった。政府は災害時に備えた情報のバックアップ体制を検討し始めている。	読売	夕・1面	6.25
医療	福島県二本松市、乳幼児と小中学生20人に内部被爆検査を月内に実施する方針を決定。二本松市の独自検査で、市内には検査装置がないため、県外の医療機関を受診してもらう予定。	読売	35面	6.15
医療	岩手・宮城・福島の沿岸部医療は医師およびベッド数不足が深刻化し、医療の持続も困難になりつつある。 10万人あたりの医師数：岩手県沿岸部123人、宮城県沿岸部177人、福島県沿岸部150人 使用不可病床数：岩手県沿岸部436床、宮城県沿岸部1129床、福島県沿岸部168床	読売	3面	6.12
医療	岩手県宮古市田老地区の唯一の医師が来年3月で退任を表明した。医師は約4000人が住む地区の医療を守ってきたが、震災前から休みは月1日で、1日平均約60人を診察しており疲労が蓄積していた。昨夏には診療中に一瞬意識を失うなどしており、体の限界を感じ、市に辞表を提出した。医師はスタッフ増員を市に要請したが受け入れられず、市に地域医療のあり方を考えて欲しいと訴える。	読売	3面	6.12
医療	宮城県石巻市で東京の医師夫妻2人が診療所を開設。東京の診療の傍ら、週二回診療を続けている。震災後、無医村になった市だが、夫妻のおかげで継続的な治療を受けられている。	千日	19面	6.2
精神ケア	岩手、宮城で精神科医らによる「心のケアチーム」の相談支援や診察を受けた被災者が少なくとも14111人に上ることが両県や仙台市が明らかにした。	山日	18面	6.26

精神ケア	総務省消防庁が「震災の遺体収容や捜索に当たった地元の市民で形成される消防団員」の惨事ストレス対策の実施を決めた。岩手、宮城、福島で活動する団員約8万人を対象とする。惨事ストレスは1995年の阪神大震災や地下鉄サリン事件を契機に注目されており、今回の震災でも警察庁や自衛隊が捜索活動などの参加者にメンタル対策を実施している。	千日	3面	6.3
節電	関東各地で最高気温が35度以上になった6/29で電力需要が93.2%に上った。十分な余力がない状態とされる93%台に乗った。政府は7月から大口の電力契約者にピーク電力の15%節電を義務づける電力使用制限令を発動することを決めた。	読売	1面	6.30
節電	6/20～6/26の1週間で、熱中症による病院搬入患者は全国で2996人であった。昨年の5.3倍に上る。高齢者が約半数を占め、3週間以上の入院を必要とする重症患者が94人、7人が死亡した。昨年は梅雨明けした1週間が、搬入最多となっており、今年も警戒が必要。	読売	夕・1面	6.29
節電	千葉市内では、企業の輪番営業により、市内保育所12か所で日曜祝日も児童を受け入れる「千葉市夏季特別保育事業」を実施。平日勤務から日曜祝日に就労時間が変更される市民対象で無料で利用できる。	千日	7面	6.23
節電	千葉大学では同大学ISO学生委員会による節電啓発イベントを開始し、委員会メンバーが学生や教職員にうちわ配布やパネル展示などを行った。	千日	7面	6.21
投稿	東北地方の都市再生には、短期的な実行とともに、若者たちの斬新な考えやご年配方の英知を取り入れた中期的対応が重要である。農工水産業を考慮し、自然環境の変容や災害に強い街を建設してほしいと願う。千葉大名誉教授	千日	7面	6.20
投稿	東北は元々、医師が足りない。医療資源には限りがある。かかりつけ医が担う身近な医療から高度な専門病院まで病態によって機能を分担し、効率化を図る必要がある。大学も大学間で協力し、志の高い医師を輩出する姿勢が必要である。医師	読売	12面	6.16

官公庁

オーダーメイド医療	内閣府「医療イノベーション推進室」が東北大の患者中心型医療「東北メディカル・メガバンク構想」を支援する方針を決めた。構想は患者それぞれの体質に合うオーダーメイド医療を目的としており、遺伝情報と診療情報をデータベース化したり、病院間の通信システムでデータを共有する仕組みを整備する。	読売	2面	6.17
休日保育	政府は節電による企業の休日操業に対応して、学童保育を休日に関くため、50億円程度の補助金を設ける方針を決めた。名古屋市や豊田市など一部自治体では、休日保育を実施する施設を増やす対応を既に決めた。ただ、保育士など人材確保できるめどは立っていない。	千日	2面	6.22
国勢調査	65歳以上が23.1%を占め、過去最高を更新したことを総務省が発表した。一方、15歳未満の人口は13.2%と低下した。	産経	3面	6.30

社会保障改革案	厚生年金：非正規も加入できるよう加入要件緩和、1．週20時間以上の労働時間 2．雇用見込み期間が31日以上。約400万人が対象。 受診時定額負担：外来患者を対象に初診・再診時の窓口負担に100円程度上乗せする。長期治療者の負担軽減に活用される。 窓口負担：70～74歳の負担を、現在の暫定1割から本来の2割へ引き上げる。 総合合算制度：医療保険の窓口負担、介護保険、障害福祉サービス、保険料を世帯単位で合計し、上限を超えた分は支払免除。	千日	5面	6.4
地域医療再生計画	千葉県、超高齢社会対応「県地域医療再生計画案」を国への提出へ。千葉県の増加率は全国で2位のスピードであり、2045年には高齢者人口は200万人に達する見込み。計画案では、1．医療人材の確保育成 2．在宅医療の充実 3．救急医療の整備促進 4．高齢化に伴い増加する疾病や医療需要への対策強化 5．高齢社会に向けた健康教育を柱とする。総額120億円だが、震災復興優先のため、要求額の満額交付は厳しい見通しである。	千日	1面	6.6
治験拠点	厚生省は今年度から3年間で治験の拠点病院を全国約15箇所に創設することを決定。新薬の早期承認を目指す。	読売	2面	6.2
松戸市立病院	松戸市長、病院の現地建て替えの公約撤回へ。現地建て替えを掲げ、初当選した市長は検討特別委員会を設置したが、委員会が半年かけて出した結論は耐震面でも財政面でも現地建て替えは厳しいとの見解であった。市長は委員会の答申結果を尊重する考えを示した。	千日	10面	6.22

再生医療

iPS細胞	iPS細胞の作製法研究が、近年進む。 1．遺伝子（材料）、ウイルス・環状DNA(導入法)、遺伝子やウイルスの組み合わせで安全性及び効率向上可能（特徴） 2．mRNA（材料）、振り掛けるだけ（導入法）、簡単、安全、低効率（特徴） 3．蛋白質（材料）、蛋白質を一部改良（導入法）、安全、低効率（特徴）	読売	19面	6.26
iPS細胞	九州大研究チームはマウスの皮膚細胞から肝臓細胞作製に成功し、論文は6/29付で英科学誌ネイチャーに掲載された。マウスの皮膚細胞に肝臓細胞特有の2つの遺伝子を導入し、約1カ月培養したところ、0.3%が肝臓細胞とよく似た特徴を持つ細胞へ変化した。肝機能不全マウスに移植すると、致死率を大幅に低減できたという。	千日	19面	6.3
幹細胞	原発の作業員1名が、都内の病院で血液幹細胞をあらかじめ採取、凍結保存していたことが判明。大量被爆して造血幹細胞の移植が必要になる事態への備えと話す。	読売	35面	6.15

病院運営

絵本	千葉大学医学部付属病院は、楽しい入院生活を送ってもらおうと、オリジナル童話絵本を作製した。子供の入院患者に配布するほか、被災地にもプレゼントした。同大学卒業の画家と同大学職員により制作された。	千日	7面	6.24
----	--	----	----	------

改革	山梨県、大月市の市立中央病院は常勤医の確保を図り、10年度の外来患者は1日平均312人と2年連続増加に成功。しかしながら、最盛期に比べ外来患者数は6割減、入院患者も半数である。産婦人科や小児科病床はまだ休止したままであり、今後もソフト面の強化が必要となる。	山日	18面	6.29
新規設立	千葉、富里市に医療法人「徳州会」の建設が今年12月にも着工される見通しとなった。外科や小児科など15程度の診療科を備え、24時間救急体制も整える方針である。	読売	京葉版	6.5
統計/災害拠点病院	千葉県、4～5月に統計をとった災害拠点病院の「病院の実力」では医療機関別態勢の一覧を掲載している。食糧備蓄は3日分が多く、災害医療情報システムの利用もほぼ全ての病院が利用予定であった。読売新聞社調査。	読売	30面	6.5
日赤	日本赤十字社千葉県支部、寄付金が震災の義援金にシフトし、通常の活動資金不足に陥る可能性が出てきている。義援金としての寄付金は直接被災地へ送られるため、本年度の通常活動予算の確保が困難な情勢となっている。	千日	21面	6.7

大学

プール	千葉県教育委員会は、既に検査済みの県内15校と合わせ、袖ヶ浦市の特別支援学校プールでも放射線ヨウ素・セシウムはいずれも検出されなかったと発表した。これで、県教委は「プール使用に問題ない」との見解を示した。	千日	21面	6.23
-----	--	----	-----	------

感染症

0104	独の保健当局はモヤシなど新芽野菜が感染源であるとほぼ断定した。新芽野菜を栽培した独北部のニーダーザクセン州の農場の野菜から病原菌は検出されていないが、疫学的な調査で感染源を特定した。	読売	7面	6.11
0104	欧州のほぼ全土に広がる0104感染は原因特定されず。死者は6月3日時点で18人、患者は1800人以上。多数の感染者を出したドイツは当初、スペイン産キュウリを原因としたが、ドイツ保険当局の検査で誤認であることが判明。スペインの風評被害による損出は約2億ユーロで、外交問題へ発展している。今回の0104は強毒、新種、多剤耐性を持っていることが分かっている。	信毎	5面	6.5
アジア条虫	サナダムシの一種「アジア条虫」の感染者が昨年6月以降、関東で15人に上る。患者はいずれも海外渡航歴がなく、国内に定着している可能性もでてきている。「アジア条虫」は主に豚を中間宿主とし、幼虫が寄生したレバーを加熱不十分の状態で食べると感染する。腹痛や下痢などの症状は見られないが、毎日のように続く「アジア条虫」の排出や、時と場所を選ばずにもぞもぞとはい出してくると不快が続く。	千日	6面	6.17

治療法・薬

軽度外傷性損傷	岐阜県木沢記念病院・中部療護センターでCTやMRIでは異常が見つけ難い軽度の脳損傷を、健康な人の画像情報と比較することで損傷したとみられる部分を際立たせて画像化する手法や放射線を帯びたブドウ糖を体内に注入し、体内への取り込み具合を見るPET検査等で診断する。センター長は軽度外傷性脳損傷が疑われる50人以上の患者を診察し、約6割に画像の異常を発見した。	読売	16面	6.24
血糖値	HbA1cと空腹時血糖値の2つの血液検査でいずれも「糖尿病予備軍」だった人が実際に糖尿病を発症するリスクは両方とも異常なしの人の約32倍との研究結果を筑波大などの研究チームが英医学誌ランセットに掲載した。	山日	1面	6.26
動脈硬化/ フォーラム	運動して、体重3キロ、腹囲3センチ減らすだけで糖尿病などの検査数値が改善。動脈硬化には食生活や運動の習慣改善が要。	読売	15面	6.21
心理/フォーラム	うつ病のタイプは二分化。一つは悲惨な環境に置かれ、生活も困難な人。他方は普通の幸福な生活を送っているが何か満足できない人。客観的且つ長期的な観点で物事を捉えることで改善へ。自分をきちんと評価することも重要。立教大学教授	読売	27面	6.28

情報科学

ITカルテ	鹿児島大病院脳神経外科では独自開発の「ITカルテ」を導入している。診察内容、医師のコメント、検査データ、CTやMRIの画像、投薬内容等が管理されており、医師と患者の双方から閲覧可能である。また、患者側からの書き込みができ、医師とのコミュニケーションのツールとしても利用可能である。複数の医師や遠くに住む患者の家族とも情報共有できる。	読売	夕・9面	6.9
サイバー攻撃	「コンピューターウイルス作成罪」を含む改正刑法が17日成立した。国際的な捜査共助などを定めた「サイバー犯罪条約」加盟手続きに前進。日本にはウイルス作成を直接罰する法律がなかった。近年では、ソニーの個人情報流出やIMFへの不正アクセスなどウイルスを使ったサイバー攻撃が多発している。	読売	夕・1面	6.17

医工学・遺伝子

がんの「兵糧攻め」	がん細胞の増殖に必要な血管の成長を抑え、がん細胞を栄養不足に陥らせる療法「兵糧攻め」に新たな方法を発見。「血管前駆細胞」と呼ばれる未熟な細胞がまず血管になり、それが既に存在する血管につながっていくことが分かったため、「血管前駆細胞」の成長を妨害する遺伝子操作でがん細胞の増殖を抑える。慶応大研究チーム調査	読売	17面	6.5
グリチルリチン酸+類似する物質	グリチルリチン酸に類似する複数の物質を合成することで、過剰になると神経細胞を死滅させるグルタミン酸の放出を抑制することが分かった。名古屋大などの研究チームが米科学誌プロスワン電子版に21日付けで掲載した。今後は筋萎縮性側索硬化症やアルツハイマー病などの神経難病の治療薬への応用が期待される。	千日	19面	6.23

災害対策支援ロボット	千葉工業大学と東北大が開発した災害対策支援ロボット「クインス」が福島原発の調査を行うため、20日に千葉工業大芝園キャンパスを出発した。「クインス」は搭載したカメラで建屋内の様子、水位計測器の設置、放射線量の計測を行う予定である。	千日	21面	6.21
内視鏡	大阪医科大などの研究チームが、遠隔操作で体内を「泳ぐ」小型カプセル内視鏡を開発した。駆動力が強く、体を横にした状態で大腸内を肛門側から逆行させることに成功した。従来の内視鏡では撮影が難しかった小腸の検査も数時間でできるようになる可能性がある。内視鏡は直径1cm、長さ4.5cm。1秒間に2枚撮影でき、8～10時間のバッテリーを持つ。	千日	19面	6.22
ヒスタミンH1受容体	京都大、九州大、米スクリプス研究所が、花粉症などのアレルギー症状を引き起こす蛋白質「ヒスタミンH1受容体H1R」の立体構造を解明した。22日英科学誌ネイチャー電子版に論文を掲載。研究チームはH1Rを酵母で大量精製し、結晶化した。その後、X線を用いた構造解析で、分子レベルの「形」まで突き止めている。	千日	19面	6.23
放射線検査機	放医研は、放射線検査機器3種を公開。1．体表面汚染モニター2．放射性セシウムのベータ線を検知するWBC3．甲状腺モニター	読売	夕・13面	6.27
補助人工心臓	補助人工心臓「エヴァハート」の開発社ミスズ・サンメディカルHDに治験第一号となった群馬県の会社員の男性が訪問。治験第一号になる不安など当時の状況を報告。現在、「エヴァハート」は8人が使用し、経過も順調。	長日	3面	6.25

症状相談

脳脊髄液減少症	体を強く打ち、軽度外傷性脳損傷と症状が似ている病気に脳脊髄液減少症がある。脊髄を覆う膜の小さな穴から液が漏れ、治療には穴を血で固めて塞ぐブラッドパッチ治療が行われる。ただ、軽度外傷性脳損傷を併発することもあり、注意が必要である。軽度外傷性脳損傷では味覚・臭覚・知覚の低下の症状が出る。	読売	19面	6.22
緑内障	眼圧が正常値の10～20(単位はミリ水銀柱)を超えても緑内障でない状態を「高眼圧症」と呼ばれる。「高眼圧症」の人は年1～2%が緑内障になる。眼圧がかなり高かったり、親族に緑内障の人がいたり、視神経に疑わしい箇所があれば眼圧を下げる目薬をさすなどの治療をする。一方、眼圧が正常でも緑内障になる「正常眼圧緑内障」の患者も多い。	読売	14面	6.12
冷房病	室内外の気温差7度以上になると自立神経が対応しきれず、頭痛、めまい、下痢、食欲不振などの様々な症状が出る。特に女性は冷え症の人も多く、男性より快適と感じる温度が2度ほど高いとされるため冷房病になりやすい。	読売	14面	6.12

介護・高齢者

ALS	ALS自宅闘病、支える妻は「覚悟と時間」が必要と言う。人工呼吸をつけた夫を自宅で介護するにあたり不安だったたんの吸引も「愛」でのりきる。	読売	14面	6.12
-----	--	----	-----	------

投稿者の言葉

医療医イノベーション	昨年度の医療品1兆1000億円超えの輸入超過の危機的状況を打開するために医療情報でデータベースやバイオバンクなどの研究基盤の構築、新薬開発に適した制度づくりなどが国家レベルでの課題である。また、新治療を必要とする人の立場に立ち、利益と不利益に関する情報を社会が共有していくシステム構築も必要である。東京大学医科学研究所教授	読売	13面	6.22
------------	---	----	-----	------

ミス・事件・訴訟・法律

B型肝炎	和解調印で事実上の解決へ。救済対象は約40万人とされ、症状に応じて支払われる和解金は3600万～50万円となった。和解金の総額は、来年度からの5年間で最大1.1兆円、30年間で3.2兆円と推計される。	読売	1面	6.29
B型肝炎	首相が6/29に患者らと直接会い、謝罪する意向を固めた。B型肝炎訴訟は6/29に国と原告の和解調印が行われる予定である。	千日	20面	6.23
アスベスト	環境省、震災で被災した水戸市内の商業ビル内で集じん機の不具合が原因となるアスベストの飛散があったと発表。飛散はビル内に留まり、周辺住民の健康に影響はないとしている。	読売	37面	6.22
臓器売買	生体腎移植をめぐる臓器売買で逮捕された医師は07年頃、中国でも移植手術の計画をしていた。しかし、中国は当時、北京五輪を控え、国際的に批判の強い臓器売買の規制を強めていたため、失敗に終わった。その後もフィリピンや国内で計画失敗が相次ぎ、焦りから暴力団側との売買に関与したと見られる。	読売	38面	6.30
臓器移植	親族間の移植には縁組から数年必要とする条件を日本移植学会が検討。現行では「6親等以内の血族と配偶者、3親等以内の姻族」に基本的に限定している。	山日	23面	6.30
臓器売買	病院側は倫理委員会を通常より多い2回開いたが、最終的に手術を了承した。逮捕された医師は息子となる元暴力団員と1回しか面会せず養子縁組をし、移植を急ごうとしたと警察は見ている。	読売	夕・15面	6.28
臓器売買	容疑で仲介役を含め5人を逮捕した。逮捕された医師は暴力団側に1千万円支払い、養子縁組を区役所に届けた疑いが出てきた。	千日	20面	6.24
臓器売買	ドナー候補は他に2人もいたことが分かった。ドナーの適合検査は逮捕された医師のクリニックで自ら行っていた。	読売	夕・17面	6.24

てんかん	てんかん患者の事故は「1.病気を申告せず免許を取得更新2.服用を怠る3.過去にも事故を起している」が多い。てんかんの教育経験が豊富な教師は、「再発防止には重い罰で対応。悪質なケースには危険運転致死傷罪の適用が必要と考えている」と話す。	読売	24面	6.8
熱中症	千葉・愛知・奈良の3県で6月29日に男女3人が熱中症で死亡。山梨県内では8人が病院搬送された。	山日	23面	6.30
松本サリン事件	事件から17年、上祐氏が率いる「ひかりの輪」は「被害者に償うためにも活動を続けたい」と話す。現在、賠償額20億円のうち1814万円を支払う。賠償の原資は会員のアルバイトや著作物の印税収入、寄付などである。	信毎	37面	6.26

危機管理

大腸菌	腸管出血性大腸菌は75度以上で1分間以上加熱すればいなくなるので、できるだけ火の通ったものを食べ、生肉などは信頼できるお店を選ぶことが大事。	信毎	28面	6.26
災害と心理	人間にはある範囲までの異常は異常と感じず、正常範囲内と受け止めてしまう「あそび」の部分がある。室内に白煙を吹き込んだ実験では、「いい匂いでお香かと思った」「体によい煙だと思った」など都合のよい解釈をして、逃げなかった。非常ベルやサイレンなどの音は、一緒にいる人が無反応だと逃げない人が多かった。東京女子大調査。	読売	夕・8面	6.9

医学・医療一般

仕事とがん	社団法人CSRプロジェクト設立。がんになっても仕事を続けるノウハウの提供、相談事業・企業・医療機関への啓発を行う。5月からネットラジオ「働くがん患者学校」を配信。会長はジャーナリスト鳥越俊太郎氏。	千日	18面	6.3
食	千葉県が漁獲量1位の夏の代表的魚「スズキ」はタンパク質・脂質が少なく、レチノール(ビタミンA)、カルシウムが含まれている。千葉県は海の幸に恵まれている。旬の食材を食卓へ。	千日	8面	6.5
食	偏った栄養は心が停滞してうつ傾向を招く恐れがある。糖質・タンパク質・脂質・ビタミン・ミネラルの5大栄養素をバランスよく摂取し、栄養を脳まで回す工夫が重要である。ビタミンB・C群は水溶性で摂取しにくいだけでなく、代謝も早いのでバランスよい食事をこまめにとることが必要。[具体的な食事のとり方一覧を掲載]	千日	6面	6.5
食	田七ニンジンに含まれる「パナキサトリオール」に高血糖を抑制する成分が含まれていることが判明。マウス実験で、筋肉に糖の取り込みを増加させる作用があることが分かった。首都大学東京やライオンの調査。	千日	6面	6.5

ダイエット	10分間の細切れ運動を1日3回計30分以上して体重5キロ減。10分間の細切れ運動は、続けて運動したのと同じ効果、もしくはそれ以上の減量や血圧低下が期待できることが分かってきた。10分間、週5でしっかり歩くことが重要。	千日	6面	6.5
統計	厚労省は2010年人口動統計で合計特殊出生率が1.39となり、前年より0.02ポイント改善したことを発表した。第一子平均出産年齢は29.9歳であった。人口自然増減数（出生数-死亡数）は-12万5760人となり、初の10万人超えとなった。	読売	1面	6.2
統計	政府は、2011年版『自殺白書』を閣議決定した。2010年の自殺者は3万1690人に昇り、13年連続3万人を超えた。非正規雇用増大などを背景に若年～中年層の死亡率が高いと指摘する。政府は1．職場での心の健康対策の推進2．地域・学校における心の健康作り推進体制の整備3．多重債務、失業者などに対する相談窓口の整備・充実に取り組む方針を打ち出した。	読売	夕・2面	6.10

本の紹介

震災	中井久夫『学ぶべき「神戸」医療者の体験』みすず書房 1260円	信毎	12面	6.26
自然災害	日本の森を歩く会『元気になる!日本の森を歩こう』洋泉社COLOR新書y 1050円	信毎	12面	6.26

朝日新聞・毎日新聞 記事見出し一覧

大震災	宮城・岩手：介護、93事業所が休廃止：再開めど立たず	朝日	6面	6.9
大震災	[岩手、宮城、福島]病院8割被害：3県で11病院が全壊：厚労省まとめ	朝日	6面	6.9
大震災	震災に便乗トラブル拡大：「被災者のため」老人ホーム利用権勧誘：断ると「放っておくのか、ひとでなし」相談窓口：	朝日	35面	6.8
大震災	震災関連死：中越の認定基準提供：厚労省「自治体の参考に」	東京	1面	6.6
大震災	帰宅困難者 駅で宿泊：JR東検討：救急用品を備蓄	朝日	1面	6.24
大震災	線量測っても不安：基準なく下せぬ評価	朝日	夕・11面	6.22
大震災	保健師不足 悲鳴：避難先の分散、被災者ケア阻む	朝日	38面	6.2
大震災	先見えぬ原発被害：長期的ケア必要 [福島県「福島のいのちの電話」：042-536-4343（相談時間10～22時）]	朝日	39面	6.2
大震災	夏の節電 企業思案：休日変更 取引先とずれる営業日：9割「15%減可能」：[朝日新聞調査]	朝日	6面	6.2
大震災	学校の緊急連絡：震災時有効な方法は：回線混雑、電話、メールつながらず：伝言ダイヤル、ツイッターなど加えて	毎日	20面	6.12
大震災	セシウム：二番茶は基準以下：静岡、2産地の荒茶	朝日	39面	6.11

大震災	Q透析患者にどう配慮すればいいですか？A通院しやすい環境を作ってください：[透析患者と分かるワッペンや巡回バスが必要：患者さん側も離れた土地に避難して、地域医療の負担を一時的に軽減することも大事：兵庫県腎友会相談役]	毎日	25面	6.11
大震災	[岩手県・大槌町]：早く仮設住宅を：人間関係募るストレス：どこでもいいから	毎日	27面	6.11
大震災	アートセラピー「注意を」：気づいていない不安・怒り出る恐れ：被災の子への活動[日本心理臨床]学会が指針	朝日	38面	6.10
官公庁	医療情報保護へ特別法：共通番号制の大綱案：6分野[年金・医療・介護保険・福祉・労働保険・税務]に利用	朝日	夕・1面	6.21
官公庁	自殺者、5月に18%大幅増：[震災との影響不明:消費者庁調査]	朝日	夕・1面	6.10
大学運営	センター試験変更で大学困惑：公正な2科目受験方法は：採用は「第1回答」？「高い点」？：「本命」絞れば回答時間2倍	朝日	18面	6.8
大学運営	東北福祉大：地域医療向け医学部新設したい	朝日	35面	6.24
大学運営	ボランティアに単位： [賛成]大学からの「称賛の形」山形大教授：	朝日	15面	6.10
再生医療	iPS細胞拒絶：山中教授が反論：「解釈に問題」	朝日	37面	6.7
臓器移植	子どもからの臓器提供、問題は？：脳死判定にくわえ、虐待の確認も難しいんだ	朝日	2面	6.6
治療方・薬	難病ALS新薬：東北大が治験へ	朝日	夕・10面	6.22
治療方・薬	武田薬品の糖尿病治療薬[アクスト、コンペタクト]：仏政府「投与控えて」：[膀胱がんの危険性がわずかに高めることを示唆する研究結果がでたため]	朝日	夕・2面	6.10
遺伝子・医工学	ネズミの記憶 電流で復活：米チーム成功 認知症応用に期待	朝日	31面	6.23
情報科学	ケータイ電磁波 WHOが注意喚起：「発がん性の可能性」	朝日	夕・1面	6.1
投稿者	不公平な消費税制：病院の消費税を還付せよ：医療ジャーナリスト	朝日	15面	6.11
症状診断	肩こり：まず正しい姿勢：筋肉も鍛えて	朝日	夕・5面	6.13
ミス・事件	長崎・佐世保：病院長、養母殺害容疑：共謀の技師も逮捕	朝日	11面	6.6
ミス・事件	医師ら臓器売買容疑：組員側に謝礼1000万円：警視庁逮捕へ	朝日	夕・1面 夕・17面	6.23
一般	節電熱中症ご注意：未発症者も油断大敵：暑さに慣れる運動始めて：風通しも大事	朝日	夕・1面	6.9
一般	夏の食中毒 備えて安心：生の食材、菌は付きもの：調理順序でリスク回避	朝日	22面	6.17
一般	人工呼吸せず、胸圧迫に専念を：心肺蘇生に新ガイドライン[日本蘇生協議会・日本救急医療財団]	朝日	夕・18面	6.17
一般	熱中症予防 気象庁が「注意報」：来月中旬から新設	朝日	夕・12面	6.10
一般	がんと就労：通勤中の便意と闘う：トイレマップ	朝日	30面	6.10

凡例 1．信毎：信濃毎日新聞 千日：千葉日報 長日：長野日報 山日：山梨日日 ゐのはな：ゐのはな同窓会報 夕：夕刊(その他の無記載は朝刊ないし日刊) 2．著作権上、新聞記事の見出しと異なる見出しの場合は、印の後に記載しております。 3．掲載見出しに補足した場合、補足部分を[]で記載しております。 4．読売新聞、産経新聞の見出しは著作権等があり掲載記事の見出しとは異なるように配慮しております。 5．日本経済新聞、秋田さきがけ、河北新報の記事は著作権等があり掲載しておりません。 6．同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないしは早い日付で報道されたものを掲載するようにしております。また、著作権を問題としない商業紙を優先し掲載しております。 7．図書紹介は、単なる広告ではなく、読後の解説評論があるものを掲載しております。 8 編集用の商業誌記事は、IT事業予算や編集者の努力の関係で集積しておりますので、御容赦ください。読売新聞が朝刊と時に夕刊、その他の新聞は、購入可能な際入手しての記事のピックアップです。